平成３０年度事業報告

１．事業の概要

我が国は少子・高齢化、人口減少が拡大する中、定年の延長や継続雇用制度の導入、年金支給年齢の段階的引き上げなど、高齢者を取り巻く社会経済状況は大きく変化しており、シルバー人材センターとしては、会員減少の解消が増々困難になる可能性が出てきていますが、シルバー人材センターの地域における存在意義を高め、積極的な事業運営を行うためには会員の拡大が重要であります。

一方、生産年齢人口の減少に伴い、人手不足が深刻化し、潜在的な労働力である高齢者が地域や企業活動などにおいて、働く意欲のある元気な高齢者が活躍することは、自身の生きがいの充実や健康促進のために重要であり、そのことが地域社会の活性化に繋がるなどシルバー人材センター事業の役割は大きなものとなってきており、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に新たな担い手として期待されております。

当センターの運営は、請負・派遣事業の収益、市からの補助金、国からの交付金により実施しており、補助金、交付金については、国や地方の厳しい財政状況の中でご支援をいただきました。

こうした中、当センターの受託事業収入は 35,475,292 円であり、前年度比較で 2,142,404 円、6.4%の増となりました。

市・県等の公共事業と民間事業が共に増加し、また、受託件数も増加していることは、当センターの事業が地域社会の中に浸透していることや会員が高い参加意識を持っているものと考えます。

今後においても、会員の確保に努め、センターの基本理念に基づき、安全就業を徹底し、会員の生きがい・社会参加の場として、会員相互の連携やお客様の信頼性の向上を図りながら、地域の日常生活に密着した仕事を提供する事業を推進する必要があります。

平成３０年度事業実績（前年度比較）

項目／年度	平成３０年度	平成２９年度	増　減	
			（件数・金額・人）	（%）
会　員　数（人）	156	152	4	2.6
受 託 件 数（件）	1,309	1,278	31	2.4
受託事業収入（円）	35,475,292	33,332,888	2,142,404	6.4
内訳：公共（円）	12,332,848	11,805,607	527,241	4.5
民間（円）	23,142,444	21,527,281	1,615,163	7.5
就業延日人員（人）	12,684	13,023	▲339	▲2.6
就 業 実 人 員（人）	114	112	2	1.8
就　業　率（%）	73.1	73.7	▲0.6 ポイント	
派遣事業 受 注 件 数（件）	2	1	1	100
契　約　高（円）	1,202,940	688,222	514,718	74.8
就業延日人員（人）	166	97	69	71.1

※派遣事業については、県連合会との契約のため、参考数値として表記した。

（１）　会員の確保と就業機会の拡大

平成３０年度における新規加入会員は１９人、退会者１５人で平成３１年３月３１日現在の会員数は１５６人となり、前年と比較し４人増の会員数となりました。

退会の主な理由は、疾病・加齢によるものが主な要因となっています。

また、会員の増加を図るため、役職員、会員による紹介、会報・市広報誌・市役所掲示板にチラシの掲示及びホームページの活用を図るとともに、イベント（かつうら魅力市）で会員募集の口コミ及びチラシとチラシ入りポケットティッシュを配付してセンターのＰＲに努めました。

（２）　安全就業対策

会員の安全就業と健康管理のために、年２回発行の会報と安全就業だよりを配付して事故を未然に防止するための啓発、就業現場の安全パトロール実施及び派遣事業登録者教育訓練技能講習会へ参加するなど安全就業意識の高揚を図り事故防止に努めましたが、残念ながら、年度中に傷害事故１件、物損事故４件が発生し、前年度と比較して２件増加という状況になりました。

発生した事故はちょっとした心がけで未然に防止できたケースがほとんどでしたので、今一度、初心に立ち返り、「就業の安全確保」が最優先の課題で

あることを心に刻み、安全就業に心掛けていただく必要があります。

（３）　会員就業意欲と技術の向上

会員の知識、技術、技能の向上を図るため、県連合会が主催する技能講習を活用した救急救命技能講習を実施しました。

（４）　会員の資質の向上・福利厚生事業の推進

市が主催するゴミゼロ運動やイベント(かつうら魅力市)へ参加し、会員同士や地域とのつながりを深め、また、親睦旅行を実施して会員相互の交流を図りました。

（５）　組織運営の充実

総務・企画部会、地域班長会議、安全・適正就業部会と安全委員会の合同会議及び会報編集委員会を開催し、より良い事業の推進を図るため積極的な意見交換に努めました。